

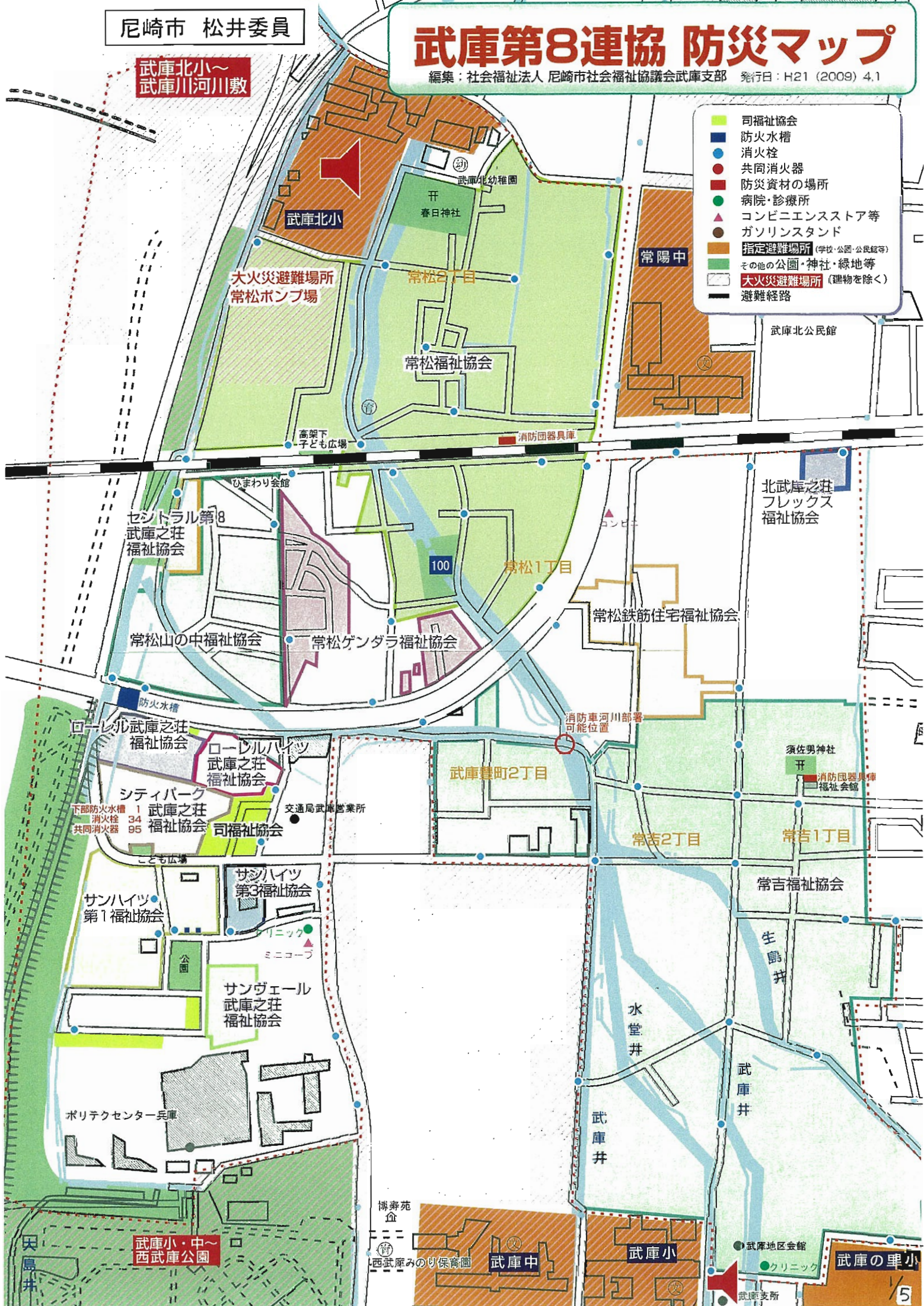
流域対策と減災対策の取組み事例

武庫第8連協 防災マップ

編集：社会福祉法人 尼崎市社会福祉協議会武庫支部 発行日：H21 (2009) 4.1

武庫北小～
武庫川河川敷

- 司福祉協会
- 防火水槽
- 消火栓
- 共同消火器
- 防災資材の場所
- 病院・診療所
- コンビニエンスストア等
- ガソリンスタンド
- 指定避難場所 (学校・公園・公民館等)
- その他の公園・神社・緑地等
- 大火災避難場所 (建物を除く)
- 避難経路



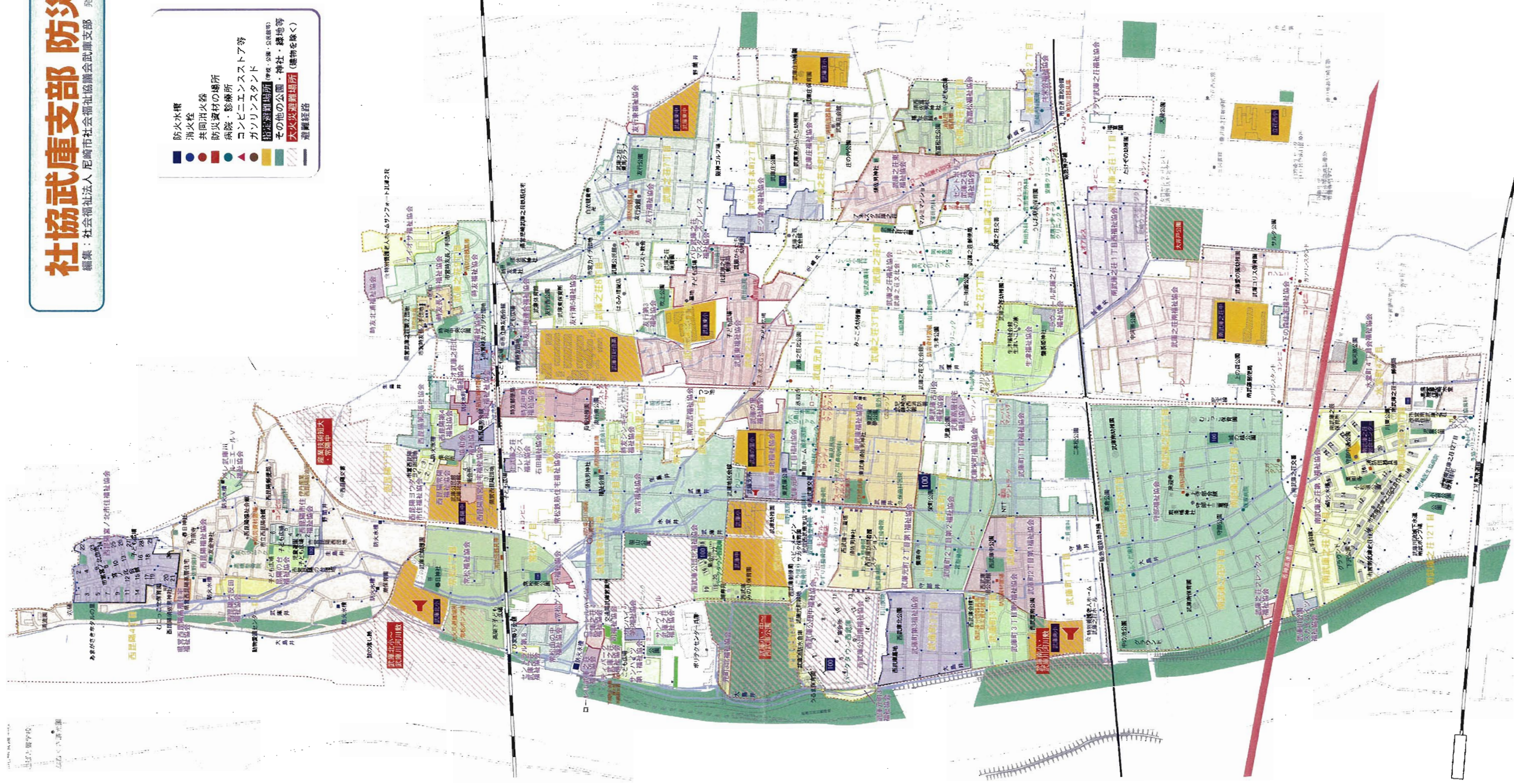
武庫小・中～
西武庫公園

武庫の里小

社協武庫支部 防災マップ

編集：社会福祉法人 尼崎社会福祉協議会武庫支部 発行日：H21（2009）4.1

- 防火水栓
- 消火栓
- 共同消火栓
- 防災資材の場所
- 病院・診療所
- コンビニエンスストア等
- ガソリンスタンド
- 指定避難場所 (学校・公園・公民館等)
- その他の公園・神社・緑地等
- 大規模災害避難場所 (建物を除く)
- 避難経路



福祉協会名

- | 守部 | 福祉協会名 |
|-------|---|
| 第1連協 | 南武庫之荘第1
武庫川公園4丁目
武庫之荘フレックス
水堂町4丁目会
西富松
生津
武庫之荘南
共栄会
下の森住宅
南武庫之荘1丁目西
ラヴェール武庫之荘
アラザ武庫之荘 |
| 第2連協 | 武庫町2丁目第1
武庫町2丁目第2
武庫町第3
武庫町3丁目第1
武庫元町2丁目第1
武庫元町3 |
| 第3連協 | 東武庫
武庫町1丁目
武庫栄町
東武庫古川会
武庫高層住宅 |
| 第4連協 | 武庫之荘
武庫之荘東
武庫'17武庫之荘 |
| 第5連協 | 西武庫公園北
西武庫公園中
西武庫公園南
元町3北 |
| 第6連協 | 武庫の里
時友シキнден
武庫元町1丁目
南常吉
石田
時友中島
武庫元町北 |
| 第7連協 | 常松
常吉
常松山の中
常松ゲランダラ
サンハイツ第1
サンハイツ第3
サンハイツ第3
ローレル武庫之荘
北武庫之荘フレックス
サグール武庫之荘
シバール武庫之荘
D-UMI武庫之荘
常松鉄筋住宅
セト列第8武庫之荘 |
| 第8連協 | 武庫庄
友行
友行
武庫東
三ツ葉会
友行第5
友行第3
友行東
ハル武庫之荘7丁目A1/A2 |
| 第9連協 | 時友
時友北浦
三七和会
時友長ノ手
時友団地連合
アイオサ |
| 第10連協 | 西昆陽第3
協和会
西昆陽第4
三和会
西昆陽景住宅
西昆陽ヨウタ市住
西昆陽常陽
テュオ武庫之荘北 |
| 第11連協 | 西昆陽
西昆陽宮ノ北市住
昆陽の台
西昆陽市住
西昆陽六反田
県営西昆陽高層住宅
ハル武庫川'17A1/A2 |
| 第12連協 | |



常松ポンプ場.JPG



水路1-1.JPG



水路1-2.JPG



水路2-1.JPG



水路2-2.JPG



放水ゲート.JPG

GDF 試用中



H23 防災研修1.jpg



H23 防災研修2.jpg



H23 防災研修3.jpg

GPR 試用中

様

平成 24 年 11 月 26 日

神崎社会福祉連絡協議会 地域 各種団体懇談会の開催

について

世話人 神崎社会福祉連絡協議会会長

田中正三

早や あと一か月で新しい年を迎えます。皆様にはお元気にお過ごしのことと存じます。平素は当地域のためにご尽力ご協力を戴きまして厚くお礼申し上げます。

さて 年の瀬も押し迫ってまいりお忙しい時期と存じますが、標記懇談会を下記の通り開催いたしますので、繰り合わせお誘い合わせご出席をお願いいたします、

記

1, 日時 平成 24 年 12 月 22 日(土)午後 6 時 30 分から

2, 場所 西川会館 ホール

3, 議題

- ① 東日本大震災から早や 1 年 9 ヶ月、東南海地震もうわさされます、皆さん一人ひとりが地震・津波についてお考えですか。どこえどのようにして避難するか考えて見ましょう。

講師 尼崎市防災対策課係長 貝賀浩司 様

- ② 最近の当地域内の様子などについての意見交換

4, 参加メンバー

社協役員 自主防災会役員 民生児童委員 防犯協会役員 防犯連絡所
県少年補導員 市少年補導員 まもれ尼っこ 110 番の家 さわやか指
導員
地域ふれあいの会 保護司 PTA 役員 子供会役員その他

以上



地域防災の実践活動とその課題

1. 用海地区団体協議会防災会について

用海地区団体協議会は、自治会、社会福祉協議会、環境衛生、婦人会、子ども会、老人会、民生児童ほか諸団体で構成。地区自主防災会は、各自治会で構成されており、会長は自治会長であり団体協議会の役員も兼任。

2. これまでの取り組み

平成20年：全体の取り組みとして、消防訓練を初めて実施

平成21年、平成23年：まちなか発災対応型防災訓練を実施

(阪神淡路大震災の経験から13～4年が経過し、防災意識が薄れているので、防災意識の昂揚と徹底に時間をかける)

防災マップ：平成21年に各自治会自主防災によりマンションへの避難できる防災マップを作成

3. 課題

- ①情報が雑多で広報がやりにくい
- ②地域・コミュニティができにくい 特にマンションとの関連
- ③津波の心配が優先されているようである
- ④地震対策が大切である
- ⑤個人情報活動の大きな妨げになっている
- ⑥危機管理意識・減災についての学習
- ⑦自助・共助・互助・公助の考えの徹底

4. 防災訓練からの問題点

- ①訓練参加への意識：特にマンション住民の参加、詳細な企画・時間をかけて広報
- ②防災リーダーの意識・知識：危機意識の徹底
- ③避難ビル：マンションの施錠、トイレ
- ④細かな事：消火器訓練で泡沫などが使用できない、火元が火を燃やせない
道路使用に費用がいる

5. 今後について・・・これまでの防災訓練などに加えて進めたい事

- ①防災マップの改正版の制作（コミュニティの向上）
- ②マンション・企業との連携
- ③個人の非常持ち出し広報
- ④地震での家具の転倒防止
- ⑤個人防災カードの作成

用海地区発災対応型防災訓練記録

1. 主催 用海地区団体協議会自主防災会（以下団協防災会という）
 共催 西宮消防署、西宮消防団用海分団
 後援 用海小学校、同PTA、西宮渡辺病院心臓血管センター
2. テーマ 「防災意識の昂揚と備え」
3. 実行委員
 各町自主防災会役員、団協理事、各団体責任者、
 各町自主防災会班長（情報・避難誘導・救出救護・給食給水・消火の各班）
4. 実施日 平成 23 年 11 月 13 日（日）
 {場所} 用海小学校校庭
5. 訓練の概要 発災対応型（大災害が発生したと想定した訓練）
6. 参加者 用海地区在住・在勤者を対象とするが訓練のため、要員を予め纏める。
7. 準備 別紙—1（略）
8. 実行委員（スタッフ）

総責任者 副責任者 ; 途中消火・救出担当 ビル避難・誘導担当 総合進行司会 救護担当 給食・給水担当 消火器担当 バケツリレー担当 可搬式ポンプ担当 簡易救助資材説明 訓練指導 サブスタッフ	西川団協防災会会長 古川団協防災会副会長（与古道町自主防災会会長） 酒井団協防災会副会長（東町 2 丁目自主防災会会長） 各町自主防災会会長 火災場所、負傷者を各町で決める 西川団協防災会会長 井ノ元松原町自主防災会会長 岡脇染殿町自主防災会会長 佐井浜松原町自主防災会会長 古川団協副会長 用海団協、近藤婦人部副部長 吉田池田町自主防災会会長 酒井団協副会長 松田石在町自主防災会副会長 坂本東町 1 丁目自主防災会会長 堂本用海町自主防災会会長 西宮消防署 団協理事及び役員、各町自主防災会役員（情報・避難誘導・ 救出救護・給食給水・消火の各班） 団協書記 石在町 堀様、 染殿町 田中様
---	--
9. 記録
10. 写真

<訓練スケジュール記録>

- 9:00 *各町、ビルへの避難 (防災スピーカーによる発令)
9:30頃、人数、状況などチェック。その後一時避難所に行く
- 9:00 *本部 会場設営集合
作業開始
1. 本部席設置
2. 会場確保 白線、杭打ちなど
3. テント設営 (炊き出し)
4. 救急場所確保 (負傷者手当て)
5. 各訓練場確保 消火訓練 (バケツリレー、可搬式ポンプ)
AED講習
簡易資材説明
- 8:30 炊き出し準備、お茶の準備 (婦人部)
- 9:40 火災発生の合図 出発 各町、一時避難場所に集合
引率 家屋火災消火、負傷者の手当てと
介添えし用海小学校へ
- 9:24 与古道町到着 (大人18人、子ども3人 計21名)
- 9:34 用海町到着 (大人20人、子ども5人 計25名)
- 9:40 浜松原町到着 (大人43人、子ども7人 計50名)
- 9:44 東町1丁目到着 (大人50人、子ども11人 計61名)
- 9:49 東町2丁目到着 (大人37人、子ども11人 計48名) 参加人数合計 381名
- 9:50 松原町到着 (大人34人、子ども5人 計39名)
- 9:50 染殿町到着 (大人31人、子ども10人 計41名)
- 9:54 池田町到着 (大人28人、子ども5人 計33名)
- 10:04 石在町到着 (大人48人、子ども15人 計63名)
- 10:08 参加者全員揃ったところで被害状況のアナウンス
- 10:09 開会式 (西川会長、開会宣言)
参加団体紹介 西宮市防災安全局 柴田局長ほか2名
西宮消防署 東所長ほか10名
用海消防分団 藤田分団長、戸崎副分団長ほか5名
西宮渡辺心臓血管センターより3名
用海小学校 住本校長ほか1名
警察より3名
- 各担当リーダー紹介
- 10:20 消防隊員より訓練要領説明
- 10:25 水消火器訓練開始 (各町4名ずつ)

- 10 : 29 水消火器訓練終了
- 10 : 35 バケツリレー訓練開始
- 10 : 47 バケツリレー終了
- 10 : 49 可搬式ポンプ訓練
- 10 : 52 可搬式ポンプ訓練終了
- 11 : 00 用海消防団による放水訓練
- 11 : 02 用海消防団による放水訓練終了
- 11 : 04 AED 講習
- 11 : 16 AED 講習終了
- 11 : 17 簡易救助資材の説明 (毛布と竹竿、ロープと竹竿、T シャツと竹竿による担架)
- 11 : 22 簡易救助資材の説明終了
- 11 : 25 訓練終了
- 11 : 25 用海消防団 藤田分区長より挨拶と団員 6 名紹介
- 11 : 26 西宮消防署 東署長より挨拶、講評
- 11 : 36 西宮市防災安全局 柴田局長より挨拶
- 11 : 42 西川会長挨拶、閉会のことば
- 11 : 45 後片づけ



平成23年
用海地区団体協議会 自主防災会
まちなか
防災訓練

と き: 11月13日(日曜日)9:00~
と ころ: 用海小学校(雨天中止)

内 容:

- ビル避難
- 消火器取扱訓練
- 可燃式ホップ取扱訓練
- バケツリレー
- AED取扱
- 応急担架取扱説明
- 防災出し訓練

新築地で多層ビルが立ち並び、加齢が進む高齢者が多く、

主催: 池田町・栄町町・松原町・与古道町・石在町・
浜松原町・東町1丁目・東町2丁目・用海町
各防災会

協力: 西宮市消防用海分団・西宮市防災安全局・西宮市西宮消防署









尼崎市

西宮市の地形

本市は、南北19.2km、東西14.2kmにわたり、ひょうたん状に展開しています。その中央部を東西に六甲山系が横断し、これを境にして南部地域は東西につながる市街地が広がり、また北部地域は従来農村地区として発展してきました。

地形は、海拔－0.6m（上田東町：鳴尾東保育所付近）から標高898.6m（山口町船坂：関西電力無線局付近）に及ぶ高低差をもち、起伏、変化に富んでいます。また、市域総面積の7割余りが北部一帯に展開する山地であり、阪神間の貴重な緑地ゾーンとなっています。

西宮市の河川は東六甲山地を中心として放射状に流れ、夙川、東川、新川等の小河川を除けば、すべて武庫川水系に属しています。

行政区域	地域の高低(海拔・m) ※	
	最高	最低
全市	898.6	-0.6
本庁	875.3	0.3
鳴尾	9.9	-0.6
瓦木	17.1	1.9
甲東	460.5	7.3
塩瀬	525.3	40.6
山口	898.6	172.2

※ 海拔とは東京湾平均海水面からの高さです。

鳴尾東地域

発災対応型防災訓練

従来の「会場設営型防災訓練」とは異なり、普段、生活を営む鳴尾東地域全域を訓練会場とし実施する。

実施日

2001年(H13)1月28日

実施概要

① 情報伝達訓練

災害対策本部を設置し、防災機材とし貸与されているトランシーバー を使い被災状況の確認、対応等の情報連絡を通信機器の取り扱い訓練も兼ねて実施する。

② 救助訓練

- イ) 家屋内・路上に倒れてる人、自動車に閉じ込められている人の救助。
- ロ) 倒壊家屋に閉じ込められている人をバールなどを使っての救助。

③ 火災発生現場での消火訓練

自宅のバケツを持ち寄り、バケツリレーで消火する。

④ 避難訓練

河川氾濫、内水・高潮による洪水を想定してロープ使用しグループ単位で避難施設へ避難する。

鳴尾東コミュニティ協議会

災害に備えて

① 防災訓練

- ・洪水時に流水の中を歩いて避難する場合の困難度体験
- ・土嚢づくり

(平成22年9月4日 約150人参加)



② 地域体育祭などに防災関連競技を取り入れる

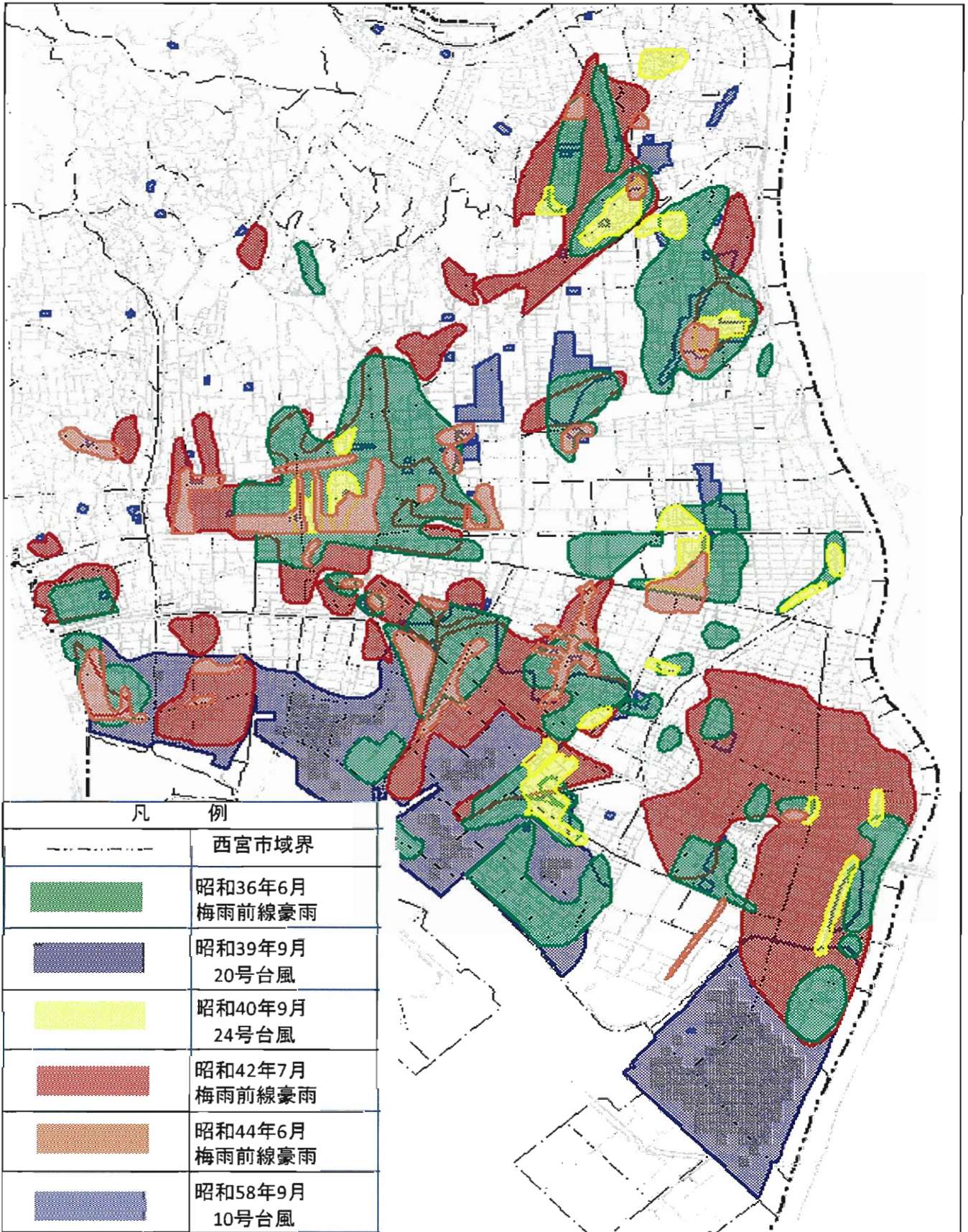
- ・担架搬送競技
 - ・土嚢運搬・土嚢積み競争
- 二人一組で一輪運搬車に土嚢を積み搬送し積み上げる。

③ 中学校の「トライやる・ウィーク」活動に地盤高さを実感できる内容を取り入れる

- ・釣竿のリールを巻尺に替え、堤防上から水面までの高さを測定、また堤防上から私たちが生活する道路までの地盤高さを確認する。
- ・測定データに基づいて「津波想定模型」を作る。



最近の浸水区域図



西宮市における災害の履歴

年月日	災害種目	人的被害		住居の被害					
		死者	負傷者	破損		浸水			
				全損	一部損	床上	床下		
平成	16.10.20	台風23号				88	76	1	
	11.9.17	豪雨	1				205	616	
	11.6.29	豪雨				3	12	33	
	10.10.17	台風10号		1			76	64	
	7.1.17	阪神・淡路大震災	1,146	6,386	34,136	27,102			
	2.9.13	豪雨					21	445	
	元.9.14	豪雨	1			6	405	10,200	
昭和	58.9.28	台風10号	9	5	1		87	715	
	50.7.3	豪雨						450	
	47.7.11	豪雨						895	
	47.6.8	豪雨					7	940	
	45.6.15	豪雨						548	
	44.6.25	豪雨					15	467	
	43.7.2	台風3号						1,022	
	42.7.9	豪雨	6	4	5	27	1,289	18,785	
	40.9.10	台風23号		4	7	250	14	488	
	39.9.25	台風20号	1	32	60	87	1,160	6,540	
	36.9.16	第2室戸台風			4	29	625	3,300	
	36.6.26	豪雨	2	3	5	10	620	10,627	
	35.8.29	台風16号	26	22	20	19	182	1,893	
	32.10.1	台風5号				2	86	1,260	
	28.6.7	台風2号			1	3	10	1,200	
	和	25.9.3	ジェーン台風	2	261	196	1,562	1,609	4,323
		13.7.3	豪雨	6		3	6	2,300	12,000
10.8.10		豪雨			1		800	5,000	
10.6.29		豪雨	5		2	2	3,000	5,000	
9.9.21		室戸大風	25	57	214	228	2,932	2,342	

地域の形成と「安全・安心」まちづくり

鳴尾地域の地形

土地の形成

鳴尾地域は武庫川による六甲山系から流下した砂礫で出来た洲に、海の潮流と波の作用で運ばれた寄せ砂の堆積により形成された土地である。

標高

武庫川最下流域である鳴尾地区の鳴尾東地域は西宮市内で一番標高の低い地域で海拔0~1m程度の地域である。

(西宮市で一番低い土地は上田地域の鳴尾東保育所前-0.6m)

鳴尾東地域の歴史

農業

稲作が主であったが鳴尾村が全村流出した武庫・枝川決壊、「戸崎切れ」以降鳴尾の農業が一変し、稲作から綿栽培が中心となりその後、西瓜そして「鳴尾のいちご」の全盛時代があった。産業として製綿、いちごジャム造りが盛んであった。

工業

海岸沿いの土地柄、海側への埋め立て、船からの物資が搬入できる様に岸壁の整備が進み、大正末期から昭和にかけ、企業の誘致が盛んに行われた。

地域コミュニティ

昭和30年代に入り企業活動活発化し工場の拡大に伴い農地は宅地化されマンションなど大型集合住宅も多くなった。

・向こう三軒両隣

それまで地域としての連携が密でなくても向こう三軒両隣りとは遠い親戚以上のお付き合い、助け合いが常であった。

・得た利便と失った風習

なによりも「鍵一つで周囲と別世界」と言う大型集合住宅(マンション)の出現と、核家族化の進展で生活の便利さを得た反面、「隣は何をする人ぞ」状態が加速。「助け合いの精神」は急速に疎となり、個人主義の台頭により、「孤独死」「無縁社会」の言葉が生まれた。

防災・減災とコミュニティ

東南海・南海地震の到来が予測され、その被害は阪神淡路大震災での阪神間エリア域を遥かに超える広域と予測される。

「自助」「共助」

これを取り切るには、「公助」頼みでは済まない、「自助」「共助」が一番重要である。平時も含め、今一度「向こう三軒両隣」の精神に立ち返り、良き近所付き合いをベースに心が通う「安全・安心」なコミュニティづくりが望まれる。

鳴尾東地区 防災マップ

「武庫川の氾濫に備えて」

～ 地域のであなたを守る ～

2010年(H22)、六カ月をかけて何をマップに盛り込むかの協議から始め作成する。

鳴尾東地域の

- ①西宮一低い地盤高さの反映。
- ②過去度々発生した「内水氾濫」
水の吹上による下水道マンホール蓋の吹き飛び
- ③避難経路及び「避難施設」の反映。

の三つ課題を盛り込んだ防災マップを作る。

- ①西宮一低い地盤高さの反映
マップに地盤高さを表示する。
- ②過去度々発生した「内水氾濫」
吹き飛びしないロック様式のマンホール蓋とロックのないタイプが混在するがロックのないタイプだけでも掲載するとマップして大変観難くなるためにマンホール蓋の知識としノンロックタイプの蓋写真を掲載する。
- ③ 避難経路と避難施設またどの避難施設に概ねどのエリアの住民が避難するかを表示する。



自治会活動と減災対策（芦屋市の例）

- ・各町、月に1度の町内全域清掃（環境美化活動）
最初と最後にミーティング・・・参加者の安否確認
避難場所と避難ルートの確認

- ・月に1度の談話室開設（福祉活動）
高齢者の集い・・・近況報告
自治会役員、福祉部、民生児童委員、福祉推進委員
がお世話をします。

- ・会員の親睦の和を拡げます。
親睦日帰りバス旅行 バス2台
子供みこし町内巡行
もちつき大会 250人
ご近所づきあい 1人の入院のお見舞 50人
延べ 100人

- ・災害発生時
要援護者の救出確認
自主防災・防犯組織の確立

- ・防災行政無線と標高標示板
自治会員に説明・確認

芦屋市自治連合会

堀 晃二

Vol.121 2011 January

あしや 社協だより

社協とは・・・?
社協(社会福祉協議会)とは社会福祉法第109条に定められている「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」です。全国・都道府県・市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域の福祉推進の中核としての役割を担い、さまざまな活動を行っている非営利の社会福祉法人の民間組織です。

発行
社会福祉法人 芦屋市社会福祉協議会
芦屋市呉川町14-9
TEL (32) 7530 FAX (32) 7529

打出小槌町の地域活動紹介

打出小槌町自治会 会長 堀 晃二

打出小槌町は、715世帯あります。その中でも古くから住まれている戸建住宅とマンション住宅が混在しています。そして、自治会の加入率は77%と比較的高い割合となっています。打出小槌町の第一の特徴は、自治会、老人クラブ、子ども会の役員がほとんどマンション世帯に属するということが挙げられます。第二の特徴は、役員会は自治会、老人クラブ、子ども会だけでなく、民生児童委員、福祉推進委員からも参加があり、約25名で安心して楽しく生活できる町を目指して活動をしています。第三の特徴は、それぞれの役員の立場から横の連携を取り、お互いの活動が見えることで町内をより活発にし、住民の誰もがどこへでも相談にいける体制となっていることです。



自治会には、福祉部と文化部があります。福祉部では、平成13年から毎月1回「@る一む」という活動に取り組み、今年で9年目を迎えます。福祉部の世話役の方と民生児童委員や福祉推進委員の協力がこの活動の大きな原動力となっています。毎月1回お互いが常日頃感じていることなど、お茶を飲みながら和気あいあいと過ごす地域の高齢者の方が集える場として定着しています。また、文化部と福祉部の共催で平成18年から年一回、桂春蝶さんなどプロの落語家をお招きしての「うちでこづち落語会」も開催しています。地域の皆さんがお腹の底から笑って元気に過ごせる、一つのお楽しみとなっています。周辺のご町内にもご案内しております。

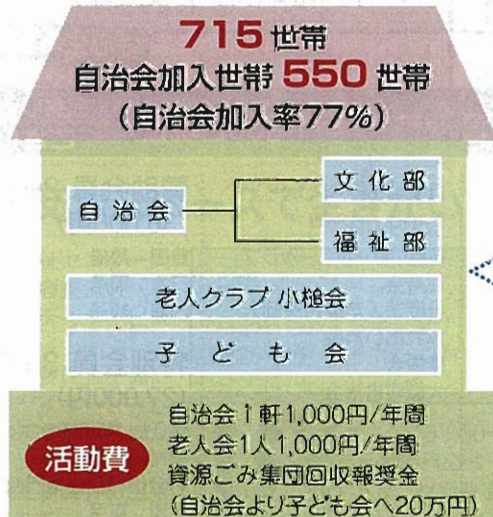


また、老人クラブ小槌会では年2回、敬老会と誕生会を行い、お赤飯をお配りして高齢者の安否確認へとつなげています。

その他、自治会と老人クラブ小槌会では親睦バス旅行、町内清掃、町内花壇の維持管理、シェパード犬との町内見回り、宮川小学校児童の登下校見守りなどの活動にも取り組んでいます。

わが町を大切にするために「地域福祉」の活動をこれからも継続して取り組んでいきます。

打出小槌町 構成と地域活動



社協だよりは、福祉推進委員、民生児童委員等の協力を得て配布しています。

岩園町自主防災会の活動

■防災訓練について

- ・平成21年までは、岩園町自主防災会単独での防災訓練
平成22年に6町合同で初の防災訓練（現在では7町参加）
- ・平成22年度は兵庫県警察学校で実施
その後小学校など場所を変えて実施
- ・今後の課題
目的を持ってしないといけない（地震なのか、水害なのか、火災なのか）。
各自がリーダー意識をもって行動できるように、リーダーづくりが必要
（被災を受けるのは、自宅周辺にいるときだけではない。津波の可能性のある場所にいることもある。）

■公園や側溝の清掃活動

- ・側溝には、地形的に土がたまりやすいため、大雨時の流れの状態などを点検している。
- ・兵庫県警察学校の学生のボランティア活動に協力しており、共同で清掃活動を行っている。

■その他

- ・畑があるところは、雨水利用の目的であるが、できるだけ雨水を貯めるようにしている。

岩園町へ新しくお越しになったみなさまへ

《自主防災会・自主防犯会からのお知らせ》

このたびはようこそ岩園町へお越しくございました。心から歓迎いたします。
私たちは町内で“自主防災・自主防犯活動”を進めている会です。

岩園町は世帯数が千を超え、公園が7つもある緑が多い町です。しかし
ご高齢の方も多く戸建ても多いため、ご近所との関係が希薄になりがちになることも
あり、時には空き巣狙いも発生しています。

大震災などが再び発生すればどうなるのかと懸念する方も多くいらっしゃいます。

会ではこの私たちの町を～安心で明るく住みやすくしよう！～と活動しています。

主な活動

- ・ 毎月実施する町内パトロール
- ・ 年一回の自主防災訓練
- ・ 公園の一斉清掃や美化活動

主な成果

- ・ 街灯の増設や切れた街灯の球替え
 - ・ 側溝の蓋の設置と促進
- などなど

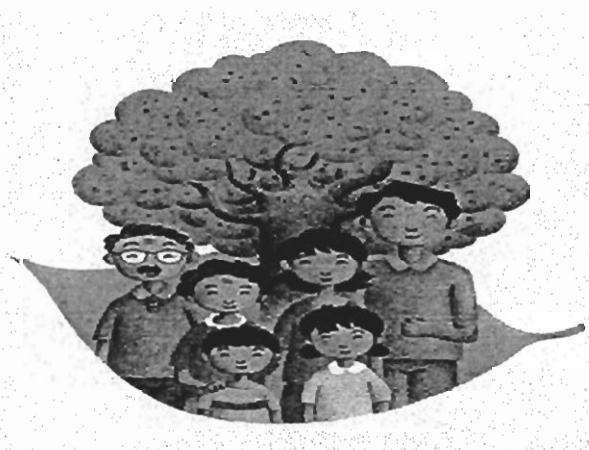
詳細については町内掲示板をご覧ください。下記班長までお問い合わせ下さい。
本日は私たちの会をご理解いただきたく、紹介パンフレットも持参しましたのでぜひ
合わせてご覧ください。会の活動へのご参加を心からお待ちしております。

岩園町自主防災会・自主防犯会

代表 極楽地英子

本日の説明者 第 班・班長

連絡先



ち い き ぼ う さ い く ん れ ん

地域防災訓練のおしらせ

11月14日(日) 10:00~12:00 (小雨でもやります)



かいじょう ひょうごけんけいさつがっこうぐらうんど
会場 兵庫県警察学校グラウンド

訓練のメニュー

- ※ 煙体験ハウス・初期消火訓練・AED使用体験・担架体験など
- ※ 土砂災害発生 of 仕組を模型を使って学びます。土嚢づくり。
- ※ 炊き出し訓練

とん汁をつくります。お椀とお箸をもってきてね!

◎みんなで楽しみましょう!!

お子さんにはとっても楽しみなメニューです!!

- ※ 消防自動車にさわって、乗って、写真を撮ろう!
- ※ 白バイに乗ろう!
- ※ 風船細工でどんなものがつくれるかな?



◎消火器相談コーナーを設けますので買替えや新規購入などお気軽にご相談ください。

協力 芦屋市防災安全課 芦屋市消防署 芦屋市消防団 六甲砂防事務所 兵庫県警察学校
岩園小学校 岩園幼稚園 朝日ヶ丘小学校 朝日ヶ丘幼稚園

主催 岩園町自主防災会・防犯会 朝日ヶ丘町自治会自主防災会 翠ヶ丘町自治会
親王塚町自治会 楠町自治会 六麓荘町内会

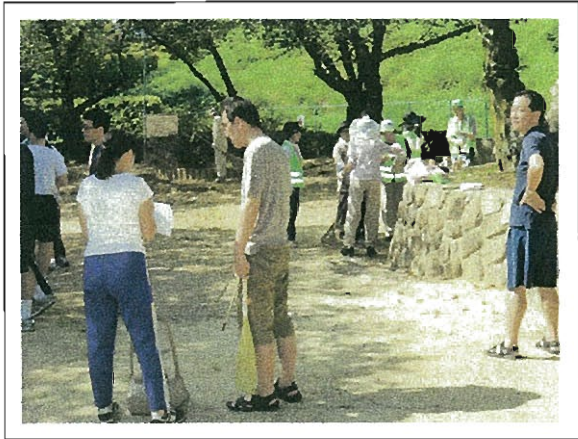
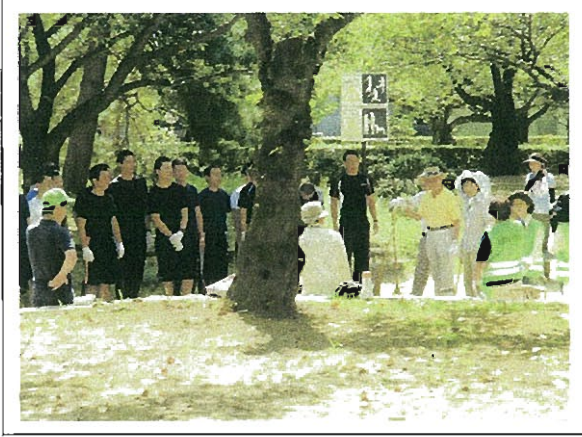
◎岩園小学校・朝日ヶ丘小学校を中心にした近隣6町の合同企画開催です。

ご家族・ご友人など多くの皆さまのご来場をお待ちしています!!

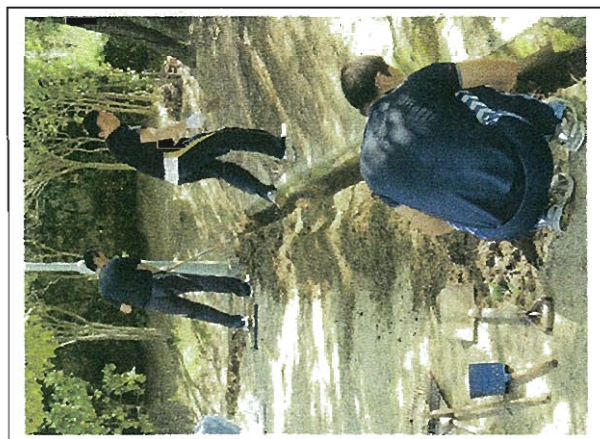
◆会場へは徒歩かバスをご利用ください。

JR 芦屋駅前発芦屋病院行きバス②番乗り場(12番、31番、32番)→上宮川橋→岸の郷橋→水道橋 経由です
駅前発 9:20 9:40 10:01 10:20 10:40 11:00 会場は芦屋病院の向いです

岩ヶ平公園清掃風景



岩園公園の清掃風景



岩園天神社周辺清掃風景



中の池公園清掃風景

